

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年1月8日 (2015.1.8)

【公開番号】特開2013-223780(P2013-223780A)
 【公開日】平成25年10月31日 (2013.10.31)
 【年通号数】公開・登録公報2013-060
 【出願番号】特願2013-138629(P2013-138629)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月18日 (2014.11.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技動作を統括的に制御する主制御手段を備えた遊技機であって
遊技に対する不正行為を検知する不正検知手段と、
少なくとも前記主制御手段に電源電圧を供給する電源供給手段と、を有し、
 前記電源供給手段は、電圧降下を検知すると異常値に変化する電圧異常信号を生成する
 電圧監視手段を有し、

前記主制御手段は、前記不正検知手段にて遊技に対する不正行為を検知すると、遊技動作の進行を停止させる遊技動作停止手段と、

各種データを記憶可能な R A M と、

前記電圧監視手段にて生成された電圧異常信号を検知すると、バックアップデータを作成し前記 R A M に記憶するバックアップ処理手段と、

電源投入を契機として前記 R A M に記憶されたバックアップデータに基づいて前記電圧異常信号を検知する前の遊技動作へ復帰させる復帰処理手段と、

所定のタイミングで乱数値を更新する乱数更新手段とを有し、

前記乱数更新手段は、前記遊技動作停止手段にて遊技動作の進行を停止させても、所定のタイミングで乱数値を更新させてなることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来の遊技機として、例えば特許文献 1 に記載のような遊技機が知られている。この遊技機は、不正行為を検知して不正検知信号を発信する不正検知センサを備えており、この不正検知センサによって不正を検知すると遊技動作の進行を停止するというものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

しかしながら、上記のような遊技機には、ノイズ等の誤作動で不正を検知した場合、遊技者に不利益を与えてしまうという問題があった。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

請求項１の発明によれば、遊技動作を統括的に制御する主制御手段（主制御基板６０）を備えた遊技機であって、

遊技に対する不正行為を検知する不正検知手段（不正検知基板５０）と、

少なくとも前記主制御手段（主制御基板６０）に電源電圧を供給する電源供給手段（電源基板１３０）と、を有し、

前記電源供給手段（電源基板１３０）は、電圧降下を検知すると異常値に変化する電圧異常信号（ＡＬＡＲＭ）を生成する電圧監視手段（電圧監視部１３０１）を有し、

前記主制御手段（主制御基板６０）は、前記不正検知手段（不正検知基板５０）にて遊技に対する不正行為を検知すると、遊技動作の進行を停止させる遊技動作停止手段（遊技動作停止フラグＧＳＦ）と、

各種データを記憶可能なＲＡＭ（主制御ＲＡＭ６０２）と、

前記電圧監視手段（電圧監視部１３０１）にて生成された電圧異常信号（ＡＬＡＲＭ）を検知すると、バックアップデータを作成し前記ＲＡＭ（主制御ＲＡＭ６０２）に記憶するバックアップ処理手段（ステップＳ５９）と、

電源投入を契機として前記ＲＡＭ（主制御ＲＡＭ６０２）に記憶されたバックアップデータに基づいて前記電圧異常信号（ＡＬＡＲＭ）を検知する前の遊技動作へ復帰させる復帰処理手段（ステップＳ１２）と、

所定のタイミングで乱数値を更新する乱数更新手段（ステップＳ２３）とを有し、

前記乱数更新手段（ステップＳ２３）は、前記遊技動作停止手段（遊技動作停止フラグＧＳＦ）にて遊技動作の進行を停止させても、所定のタイミングで乱数値を更新させてなることを特徴としている。